

受け継がれる

伝統の技も

子も宝

No.115 2016.10.17発行

9月定例会

- 町長退任あいさつ／議長謝辞 P.2
- 平成28年第3回定例会 P.3
- 工事請負契約承認／人事案件 P.4
- 常任委員会報告 P.5
- 臨時議会／視察研修報告 P.7
- 各種会計決算認定 P.8
- 一般質問 5名 P.10
- わたしのひとこと P.15

東飯田・丸塚 寺元 新八さん  
南山田・宝泉寺 松平 努さん

# 議会だより ここのえ

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成28年10月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

野上・鉾神社に伝わる杖の奉納



## 三位一体で道をつむぐ

九重町長 坂本 和昭

このたび、九重町長の職を退任するにあたりまして皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、議員として13年間、町長として24年間、町政に携わらせていただきました。この間、町の発展と町民福祉の向上を目指して、皆様の先頭に立ちまちづくりを進めてまいりました。特に、政策決定は、議員時代の経験が大変役に立ちました。「まちづくりは、議員や行政だけではできない。議会と行政、そして、町民参画が重要である。」と、町長に就任してから、この三位一体を最も大切にしてきました。

振り返りますと、財政健全化に向けた行財政改善計画から始まり、活いきランド施設整備、大災害対策、猪牟田ダム問題、大吊橋建設、単独のまちづくり、ケーブルテレビ導入、幼保一体化施設整備、日本一の田舎づくりなど重要プロジェクトは、町民説明会を重ね、議会とは時間をかけて協議し、目指すものが同じであるというスタンスで、町民にとって何がベストかを共に選択できたのではないかと自負しております。特に、日出生台演習場米軍実弾射撃訓練は、町民、議会と共に必死に反対してきましたが、不本意ながら受入れという苦渋の決断をせざるを得なかったことは今でも胸が痛みます。決断した以上は、町民の安心・安全を守ることが私の責務であると痛感した出来事でした。また、中学校統合問題では、4校統合が実現できたことは、子どもたちにとっても、これからの行政運営にとっても、町が一つになる大きな一歩を踏み出したものと確信しております。

これからも、人口減少や高齢化が進展していく中で、福祉の向上を図る様々な取り組みが重要なことになりました。まずは、財政規律を堅持するために、事業実施においては選択と集中が基本となります。しかし、最も重要なことは、町民、議会、行政が一体となることです。これが成れば、どんな課題にも立ち向かっていける、解決できると私は信じています。

今後は、一町民として、郷土の発展を見守りたいと考えております。これまでの皆様からのあたたかいご支援に感謝を申し上げ、退任のごあいさついたします。

九重町議会 議長 小川 克巳



24年間の長きにわたり、九重町の発展、振興に大変なご尽力を賜りここに厚く感謝申し上げます。

とりわけ「平成の大合併」と称された市町村合併においては、国や県の強力な推進に関わらず、苦渋の選択の中、単独の道を選び、自律のまちづくりを力強く推進し、今日に至っています。全国的にもめずらしい、小さくてもキラリと光る町づくりを推進して頂きました。

また、財政健全を堅持しつつ、手がけられた事業は沢山ありますが、中でも九重“夢”大吊橋は町民の意見が二分する中での決断でしたが、大盛況で計り知れない経済効果と波及効果を町内外にもたらし、ロマンあふれる町、活力あふれる町、自然あふれる町として注目を集めました。さらに、町長が推進した豊富な資源を活かした地熱事業や既存の温泉資源は観光振興を含めて、一層飛躍できるものと確信しています。

さらに、緑陽中学校やこども園の建設をはじめ地区公民館建設などと教育施設の充実が人材育成が必要不可欠と判断しての取り組みで後世に希望をもたらしました。公務多忙の中、ふれあいタイムを定期的に行なうことで、対話の町政を実践したことは、過去に例を見ない取り組みで、今後の自治体行政のありかたを提案されたものと、ここに深く感謝申し上げます。

# 平成28年第3回定例会(9月5日)

本定例会は9月5日から9月23日までの19日間開催されました。  
報告2件、議案17件を慎重に審議いたしました。

## 平成28年度一般会計補正予算(第5号)

**補正額** 6,420万円増額  
**補正後の額** 80億3,563万円

### ◆ 補正予算ピックアップ ◆

#### 歳入

- ふるさと納税の返礼品見直しに伴うまちづくり寄付金・・・5,000万円
- 基金繰入金……………▲1億8,000万円
- 平成27年度決算に基づく繰越金……………1億8,762万円

#### 歳出

- ふるさと納税に対する返礼等業務委託料など……………3,428万円
- 九重プレミアム旅行券事業補助金……………2,200万円
- 菅原地区集会所の設計委託料……………900万円

# 補正予算質疑

#### Q

歳入で、ふるさと納税が5千万円計上されており(当初予算では2百万円)、これから半年間で5千万円ふるさと納税をしてもらうには大変な努力が必要である。

返礼品の内容や品数の充実、その積極的なアピールなど、スピーディーな準備と着実な取り組みをすべきである。

#### A

今回、返礼品の充実、インターネットの活用によるクレジット決済を導入するとともに、パンフレットの作成により積極的にアピールすることとしている。

また、新たに返礼品事業を事業者へ委託することとしていることから、新たな品物の開発が図られる。

#### Q

農地利用状況調査等調査員報償費増の内容は、

#### A

農地利用の状況調査等

適正強化に対応するための日数増による報償費の増である。



農業委員会現地確認

#### Q

菅原の集会所の設計委託料が900万円計上されている。工事費約6千万円(予算)の15%になる。設計委託料が高すぎるのではないかと。

#### A

大分県設計基準単価の積算で決定している。

# 工事請負契約2件を承認

(予定価格5,000万円以上の工事請負契約については、議決が必要です)

## 奥野定住促進住宅(仮称)新築工事 (建築主体)

### 契約金額

1億5,785万2,800円(税込)

### 契約方法

要件設定型一般競争入札(総合評価方式※)

### 契約業者

新成建設(株)玖珠支社

### 議決外事項

(機械設備) 契約金額	2,959万2,000円
契約業者	安部文化工業(株)(大分市)
(電気設備) 契約金額	2,386万8,000円
契約業者	イーベル(有)(玖珠町)

## 南山田公民館新築工事 (建築主体)

### 契約金額

1億6,504万5,600円(税込)

### 契約方法

要件設定型一般競争入札(総合評価方式※)

### 契約業者

新成建設(株)玖珠支社

### 議決外事項

(機械設備) 契約金額	3,088万8,000円
契約業者	扶桑工業(株)(大分市)
(電気設備) 契約金額	1,447万2,000円
契約業者	久大電設(株)(玖珠町)

※契約方法の「総合評価方式」とは、

「価格」だけでなく、「価格以外の要素」(例えば、企業の施工能力や地域貢献など)を総合的に評価して、契約業者を決める方式です。

## 人事案件4件

人権擁護委員の  
推薦に同意



佐藤 佳美さん  
南山田・相扶間

前任者が、平成28年12月31日をもって辞任されるため、後任として佐藤佳美氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。



田川 慎一郎さん  
飯田・無田中一

前任者が、平成28年12月31日をもって辞任されるため、後任として田川慎一郎氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。

教育委員会委員の  
任命に同意



吉光 豊さん  
南山田・桐木一

前任者が、平成28年9月30日で任期満了となるため、後任として吉光豊氏を任命することに同意しました。



甲斐 充さん  
飯田・筋湯

前任者が、平成28年10月7日で任期満了となるため、後任として甲斐充氏を任命することに同意しました。

# 審査報告

議案  
0件

## 今回議案の審議はなし

### 農林課・農業委員会審議

一般会計補正予算において、肉用牛大規模経営事業の採択事業量の増による補助金が増額となることの審議を行いました。

その他として、熊本・大分地震によるトンネル内水路崩落により栗原地区の耕作不能な水稲対策として、そば四・六ヘクタール、飼料用作物二・六ヘクタールの転作が行われ、トマト栽培用の水確保に散水車をリースしてできる限りの給水を行っている等の説明を受け審議を行いました。



トマト栽培用散水車



栗原地区転作そば開花

### 企画調整課審議

業の前倒しによる来年度計画分を今年度実施するため負担金が増額となることの審議を行いました。



一般会計補正予算においてふるさと納税返礼の見直しにより業務委託等関連する経費が増額となることについて審議を行いました。

その他として、ふるさと納税の申込み、返礼についての委託・九重町地域公共交通網形成計画の選定事業者・過疎地域自立促進計画（参考資料）の変更について説明を受け審議を行いました。

### 建設課審議

一般会計補正予算において、農地災害復旧の測量・設計委託料が増額となること及び中山間地域総合整備事

その他として、災害家屋の判定の方法等について説明を受け審議を行いました。

### 税務・会計課

徴収事務において、県や玖珠町と連携して町を越えて徴収活動を行い効果が出ているようです。

### 飯田養豚場建設計画の変更説明会

建設計画者の北九州ファームは、建設反対者の要望、意見により可能な限り養豚場建設計画の変更を行うこととして24日に飯田地区体育館において説明を行いました。北九州ファーム稗田社長以下5人の出席のもと説明が行われましたが今後も必要な限りの理解は求めていきたいとの話でありました。  
委員会としても引き続き調査、研究を行ってまいります。



町道災害復旧工事完成

### 危機管理情報推進課審議

一般会計補正予算において、災害被災者住宅専建支援金の増額は申請者の増のため・ケーブルテレビ受信機の購入により増額となるために審議を行いました。

# 審査報告

議案  
1件

## 九重町地熱資源の保護及び活用に関する条例の一部改正

九重町では地熱利用に関し、事業者より提出された計画を、検討委員会で審議しますが、今回の改正は、国が設立した委員会に対し、専門的見地からアドバイスを求められるように改正するものであり、適当であるとの意見の一致をみました。

### ▼審査事項以外で…

## どうなる温泉館

### 執行部 3月末で閉館を提案

#### 【理由】

- ①利用者も少く、管理業務を引き受ける団体が無い。
- ②ポンプの老朽化で、安定稼働が保証できない。



運営が検討された温泉館

- ③震災被害も含め、全体的に建物が老朽化している。
  - ④構造上、利用しにくいという現在地での改造は、立地的にも厳しい。
- 以上が主な理由でした。

### 委員会は再検討を提案

#### 【理由】

- ①結論を急ぎすぎ、有効活用を検討すべき。
- ②町民福祉の向上、健康増進のための施設は必要。
- ③町民に望まれる施設にする

ため、温泉の活用法も含め、本格的に検討すべき。  
④必要とする個人、団体の存在もある。

以上の意見をふまえ再検討を提案しました。

### 執行部 休館で再提案

委員会としては、継続を強く望むも、業務を受けて頂く団体が無いことには、営業ができない現実があります。

そして本当に望まれる施設の可能性を検討するには一定期間が必要であることから、利用者への説明とご理解を十分頂くように執行部へ求め、来年度からの休館はやむなしと判断しました。

## 九重復興

## プレミアム旅行券

## 発行

### 町内の方も利用可能

大地震による、施設被害

と共に、風評被害により、町内への観光客数は、まだまだ復興のきざしを感じられませんが、

そこで、観光客が減少する冬期に向けて「旅行券事業」を実施することとなりました。

事業費は、2千2百万円、1冊1万円を5千円で販売し、1人2冊が限度です。

町内の方でも利用できますので詳しくは、九重町商工会または九重町役場商工観光・自然環境課までお問合せ下さい。

## 待機園児問題

### 深刻な保育士不足

開園して半年が過ぎた、みつばこども園、10月の入園希望者4名の内、2名が保育士の不足が原因で入園できませんでした。

執行部には、開園

前から待機園児を出さない努力を重ねて求め続けて来ましたが、全国的課題の保育士不足は本当に深刻です。

### 皆様のご協力を

園児の年齢によって保育士の数が定められているため、年少児が増えれば、保育士も増員が必要となります。皆様のまわりに、保育士の有資格者が居れば、声をかけて頂けると幸いです。



元気に遊ぶみつばこども園の風景

# 2回の臨時議会開催

## 第4回臨時会（7月25日）

### 九重町一般会計補正予算（第3号） 1億1,538万円

- 歳入
  - 公共土木施設災害復旧補助金の追加 …… 4,736万円
  - 公共土木施設災害復旧事業費の追加 …… 2,700万円
  - 財源不足に伴う基金繰入金追加 …… 3,000万円
- 歳出
  - 九重町議会補欠選挙の実施に伴う必要経費の追加 …… 234万円
  - 6月梅雨前線豪雨に伴う災害復旧工事の追加 …… 1億1,214万円
  - 緑陽中学吹奏楽部南九州大会出場補助金の追加 …… 125万円

## 第5回臨時会（8月19日）

### 九重町一般会計補正予算（第4号） 6,284万円

- 歳入
  - 地方創生加速化交付金事業の追加 …… 6,284万円
- 歳出
  - ドローンを活用した新たな情報発信事業 …… 333万円
  - 平成28年熊本地震に伴う風評被害対策事業 …… 4,974万円



町が購入するドローン



大刀洗町議会での研修

7月21日、22日の2日間議会だよりを作成している議員が研修を行いました。  
視察先は、長崎県の長与町議会及び福岡県の太刀洗町議会、であり両町の議会だよりは、全国コンクールで表彰を受けており、読んで頂ける紙面づくりを目的に研修しました。

読みやすい  
議会だよりを目指し、  
研修を行いました。

議会だよりは、原稿作成、レイアウト、写真撮影と全ての作業を議員が行なっていますが、苦勞して作成しても、読者が読みたくなる紙面でなければなりません。  
むずかしいことですが、今回の研修で、参考になる点多々ありましたので、より良い紙面づくりを目指すうえで、有意義な研修となりました。



大刀洗町の議会だより



長与町の議会だより

# 平成27年度 各種会計決算を認定

第3回定例会において、議長及び議選監査委員を除いた中から議員6名により決算審査特別委員会を設置し、平成27年度一般会計及び特別会計の決算について、9月6日、7日、15日、16日の4日間にわたり審査しました。審査に当たっては、予算が、議決した趣旨と目的に従って、適正にまた効果的に執行されているか審査しました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告どおり各種会計決算を認定しました。

## 平成27年度 会計別決算額の状況

会計	区分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (C) (A-B)
一般会計		84億2,604万円	79億7,185万円	4億5,419万円
国民健康保険特別会計		18億1,446万円	18億174万円	1,272万円
水道特別会計		1億572万円	1億99万円	473万円
飯田高原診療所特別会計		7,273万円	6,882万円	391万円
介護保険特別会計		14億5,223万円	13億9,388万円	5,835万円
介護サービス事業特別会計		2,928万円	2,753万円	175万円
後期高齢者医療特別会計		1億2,657万円	1億2,615万円	42万円
合計		120億2,703万円	114億9,096万円	5億3,607万円

※端数処理等の関係から、差引額及び合計額の数値については必ずしも一致しません。

■ 財政力指数 (3カ年平均) **0.29**

指数が「1」に近いほど財政力がある

■ 自主財源比率 **35.6%**

■ 経常収支比率 **85.1%**

この比率が低いほど財政構造に弾力性がある。前年度は**88.9%**

■ 公債費比率 **4.0%**

財政力に対する公債費(元利償還額)の負担割合を示す。  
本町の指標は**13%**であり、良好である。

## 一般会計収入未済総額 (滞納金)

税目	26年度末	27年度末	増減
町税	9,000万円	9,657万円	657万円
分担金・負担金	152万円	118万円	△ 35万円
使用料・手数料	1,814万円	2,124万円	310万円
財産収入	474万円	449万円	△ 25万円
諸収入	6,516万円	6,483万円	△ 33万円
合計	1億7,957万円	1億8,832万円	875万円

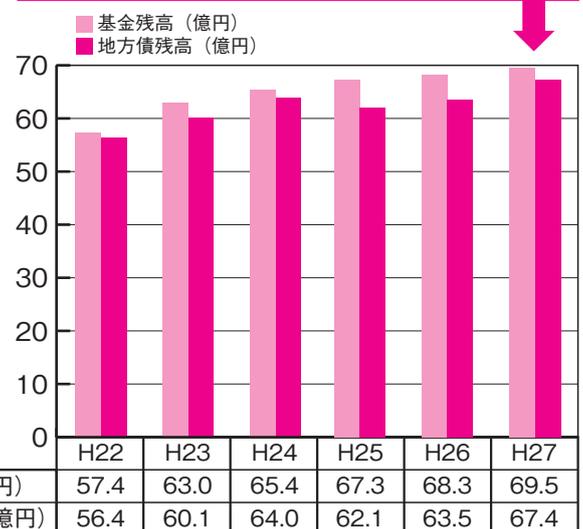
※端数処理等の関係から、増減額及び合計額の数値については必ずしも一致しません。

## 普通会計に属する基金残高と地方債残高の推移

平成27年度末

地方債(借金)残高 67億4千万円

基金(貯金)残高 69億5千万円



## 決算認定にあたっての付帯意見

### 収入未済について

一般会計では、町税、使用料、負担金、諸収入等の収入未済額が1億8,831万7千円で、平成26年度分より874万6千円増加していますが、収入率については、97.74%と改善されています。

特別会計では、全体の収入率は98.30%と平成26年度分よりも改善されています。

これらのことについては、担当課、職員が徴収率の向上のために大変な努力をされている成果であることが認められます。収入未済額の多くは徴収困難なものであることは伺えますが、今後も納税者等の不公平が生じないように、また町の収入確保のために引き続き滞納整理対策の強化に努めるべきであると考えます。

### 不用額について

不用額の多くは、予算の目的を達成しながら節約や工夫によって生じたものや、災害等に備えてのものがほとんどですが、中には予算そのものの見積りが過大であるものや、公用車を使用した旅費のように全課を通してほとんどが不用額になっているものもあります。

予算編成にあたっては、必要な予算を厳選して計上し、計上した予算は特別な理由がない限り計画的に着実に執行することを要望します。

また、年度途中で不用額になることが決まった場合は、できるだけ早期に減額補正を行い他の目的に有効利用することを望みます。

### 補助事業について

補助金交付制度や補助事業については、広報紙で周知・公開していると思いますが、その内容については知らない町民も多いように感じています。広報紙だけでなく、ケーブルテレビやホームページ等を活用し、周知を徹底するべきであると考えます。

### 財政運営について

今、定住人口は1万人を割込み、少子高齢化の流れの中で、「日本一の田舎づくり」をテーマに掲げ、「九重町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しているわが町では、九重町に生まれたことに誇りを持ち、町民の一人ひとりがいきいきと安心して暮らせる住みよいまちづくりをしていく必要があります。そのためには、年々増加している国民健康保険の医療費や介護保険の給付費を抑えることが必要であり、生活習慣病等の病気にかからないための指導や要介護者をつくらぬ介護予防の取り組みを強化していくことや集団検診の受診率の向上とジェネリック医薬品の使用促進が望まれます。

なお、課ごとに、検討すべき点や改善点について、ヒアリングの中で一つ一つ指摘しましたので、それらに適切に対応し、住民のために公平、公正、効果的に予算執行を求めます。

# 町政を質す 一般質問

## 5名の議員が質問

### 急げ観光と特産品の開発を

..... 状況を見て取り組みたい



藤原 三治

#### ● 観光客のターゲットをもっと広げてはどうか

**藤原** これまでの福岡方面、海外では韓国、台湾だけでなく、これからは北九州や久留米方面、海外ではベトナム、タイ等の富裕層にも的を広げてはどうか。

**町長** インバウンド対策は始まったばかりで環境整備受け入れ態勢を考え、観光協会と調査し町内の業者と連携を取りながら進めていきたいと考えている。

#### ● 町内観光地に電気充電施設設置を

**藤原** 九重町は、自然エネルギー日本一の町でありながら、普及しつつある電気自動車の充電施設が全く無い。他に先がけて町内観光施設やふるさと館等に設置してはどうか。

**町長** 町も自然エネルギーで名をはせており、設置場所の問題もあるが、補助事業の活用も考えながら、つり橋などでの設置を考えている。

#### ● 被害対策で作付けしたソバで町の特産品開発を

**藤原** 4月の地震により、栗原地区の被害対策で植えたソバ4・6ha、耕作放棄地の問題解消にも町が、機械の導入支援を行い、新たな特産品の開発をしてはどうか。



外国人を乗せたバスと設置が求められる充電施設



#### ● リピーター確保に研修やアンケートの活用を

**藤原** 国の補助事業によるふつこう割クーポン事業や町のPR、お客様に、九重町のファンになつてもらえるように、アンケートを活用して、おかみの研修を行うてはどうか。

**町長** 町も観光協会とアンケート調査を行い、集客に努力している。観光協会でもおとなし研修は行っているが、先進地の研修も考えていきたい。



災害対策で植えたそば(4.6ha)

**町長** 栗原地区の水田8haが水路の被害で作付不能となり、4・6haに豊後高田市の協力でソバを植えたが、今年も被害対策としての契約栽培でもあり、今後の作付け状況を見て、一定の作付けがあれば機械の導入も必要であると考えている。

大津留 敏加



## 熊本・大分地震・豪雨の 防災計画見直しはできているか

..... 計画見直しに着手している



県道飯田高原中村線

**大津留** 町の防災計画の見直しはできているか。

**町長** 各課の課題など検証し、職員の初動体制確立や被害情報の共有化については既に行っている。現在は各避難所の運営マニュアル作成に着手しており、早めに完成させたいと思う。

● **飯田地区の紅葉シーズンに間に合うか**

**大津留** 県道飯田高原中村線では、斜面3ヶ所が崩壊、現場は紅葉の名所に近い。復旧はどうか。

**町長** 10月中旬をめどに珍珠土木事務所が片側通行に取り組む。全面復旧のめどは立っていないと聞いている。

● **九州電力発電用 水路隧道(栗原)の復旧工事計画は**

**大津留** 当初8月復旧予定であったが、どのようになっているか。

**町長** 当初の計画後に、余震が続く崩壊場所の上が陥没したため、調査が遅れ来年5月に通水見込みと聞いている。

● **自律推進計画の進捗状況は**

**大津留** 職員定数について、平成27年4月の目標数値は134名であり、この数値は、幼稚園、保育園の民営化を想定しての目標数値であった。本年4月現在の職員数は152名であり、こども園の民営化をどのように進めるのか。  
**町長** 民営化については、今年度地方分権改革の提案として、内閣府、文科省、厚生省に要請している。

参議院選挙の10代の投票率(%)

市町村	18歳	19歳	10代
九重町	39.13	26.88	32.97
玖珠町	36.20	32.43	34.20
日出町	51.10	47.49	49.34
姫島村	44.44	25.00	35.29
大分市	47.60	37.46	42.56
別府市	47.55	37.88	42.57
中津市	47.85	35.69	42.56
日田市	42.53	30.88	37.00
佐伯市	44.80	28.04	37.42
臼杵市	51.77	46.08	49.24
津久市	72.73	54.11	63.32
竹田市	43.26	29.76	36.71
豊後高田市	45.15	38.58	41.94
杵築市	52.86	33.77	44.23
宇佐市	46.49	38.43	42.59
豊後大野市	50.48	42.98	46.55
由布市	50.77	44.44	47.60
国東市	55.92	32.75	43.48
県計	47.75	37.17	42.58

● **若者の政治参加と主権者教育は**

**大津留** 今夏の参議院選挙で10代の投票率が九重町は県下で最も低い結果であった。小中学生の発達段階に即した教育の方法をどのように考えているか。  
**教育長** 小学校の教養課程は、6年生から憲法や国家の思想、国民としての権利などに触れ、中学校では政治という項目の中で、より深く具体的に民主政治と社会参加について学習を行っている。

● **老人福祉の向上は**

**大津留** 今玖珠町は、自主的かつ積極的な取り組みをするサービスとして、タクシー・バスの公共交通利用券1人1回につき200円を負担、年間40回までの補助があるが、九重町でもこのような支援はできないか。  
**町長** 今年度地域公共交通網形成計画を策定し、財政的な負担を考慮しながら検討していく。

佐藤 博美



# 畜産農家の減少 どう食い止めるか

…………… 肉用牛ヘルパー制度導入を関係機関と検討

## ● 畜産農家の減少 対策は

**佐藤** ここ数年子牛価格は非常に高くなっている。にもかかわらず畜産農家は毎年約10戸減少している。

高齢化で市場出荷時に子牛運搬や堆肥処理、飼料作物の収穫運搬作業の重労働を伴うことや、後継者がいて畜産を行なっている人でも、病気や冠婚葬祭の時でも毎日の仕事は休めず、家族での旅行もできないなど、生き物を飼うという事は非常に厳しい面がある。

今畜産農家に一番求められているのは「ヘルパー制度」だと思う。行政でできる対応は。

**町長** 畜産農家の減少対策として、自給粗飼料確保のため牧草種子購入費に対する補助金や、雌牛の自家保留に係る補助金の事業を行なってきたが、3月に繁殖農家に向けて行ったアンケートからも、肉用牛ヘルパー事業についての期待感



見事に育って出品された郡品評会の和牛

があるのは事実である。

将来にわたり肉用牛生産を支え、生産基盤を固める手段として、現在JA飯田管内で行なわれているヘルパー制度はあるが、今後町内全域にわたる肉用牛ヘルパー制度の体制確立に向けて、雇用方法や稼働率を含め、関係機関と検討を行っていく。

## ● 椎茸農家も高齢化で生産者が減少 対応は

**佐藤** 干椎茸の価格も昨年から急激に高くなったが、生産者が年々減少している。大分県椎茸農協の組合員の

平均年齢が73歳、日田玖珠が県下で一番若くて71歳である。全国の乾椎茸の生産量の4割以上を生産している大分県、生産者の高齢化等での労力不足が一番の課題である。シルバー人材センター等の取り組みはできないか。

**町長** 原木椎茸を中心に、重労働、高齢化で年間10戸程度の産地を減少している。椎茸今年から「椎茸ファーマーズスクール」を立ちあげ、町内の生産者の元で研修を行ない将来町内で椎茸生産を始めたい人の募集をしている。

労力不足の点については、広域的に関係機関で検討していきたい。

## ● 地元高校、存続するための取り組みは

**佐藤** 高校再編により玖珠郡に1校となった美山高校160名の定員に対して初年度は123人、今年度は1

18人の生徒しか集まらない。地元高校を存続させるための取り組みは？



南九州大会で銀賞に輝いた美山高校吹奏楽部

**教育長** 両町の町長会を中心に高校支援協議会を立ち上げて玖珠が600万円、九重が400万円を出し高校の魅力づくりのため資金を作ったが、1年目は有効に使えず成果はなかった。しかし今年度は、美山グローバルプロジェクトを組織して高校も本気になって取り組んでいく姿勢なので3年度は様子を見ながら対応していきたい。

※グローバルとは…地球規模の視野で考え、地域視点で行動する事

増田 裕子



## 町100%出資株式会社について 計画を一年延期して、もっとじっくり 計画を練り直してみてもどうか

……何が何でも来年4月と一方的に押し切っていくわけではない

**増田** 七月の四地区説明会で住民の声を受けて検討したことは。

**町長** 皆さんから、具体的会社の規模、職員数、収支計画、町が100%出資するので赤字は許されない、一方的に見切り発車するのではなくて十分議論をする機会を持つように等の意見をいただいた。それを受けて9月1日にまち・ひと・しごとの本部会議に投げかけ、今月16日に再度会議開催、その後議会と協議しながら一定の合意が得られれば再度住民説明会を行っていききたい。

**増田** 多くの住民から、会社を作った時と作らなかった時の良し悪しやコストの見積もりなど示してほしいと声が上がったが、その数字は出ているか。

**町長** 定款も含め、16日以降、できるだけ出ししていきたい。

**増田** 住民説明会時のスケジュールでは、11月上旬に会社の設立登記と会社経営者公募、1月上旬に経営者決定、下旬社員募集、2月下旬に社員採用で四月業務開始。この短い期間でこれから町の将来を背負う会社の体制や職員を決めるのは無理ではないか。もっと総合的に計画をじっくり練ってからするべきでは。

**町長** 何が何でも四月開始と一方的に押し切っていくわけではない。十分に住民の同意を得てからの事業展開となる。

**町長** 何が何でも四月開始と一方的に押し切っていくわけではない。十分に住民の同意を得てからの事業展開となる。

### ● 地域おこし協力隊 受け入れる体制を整えて、 有効な活動と 人材の募集を!

**増田** この一年間の活動状況や今後の構想は。

**町長** 空き家紹介を基本的に業務としながら様々な活動に参加している。現在一人



耕作放棄地に挑戦する協力隊員

は野倉で耕作放棄地の対策をやっており、もう一人は定住して将来飲食業を開店したいと希望している。

今後、野上や南山田地区の協議会から要望も出ており、11月に再度各地区協議会を訪問して、地域にどういった課題があつてどう活用するのか明確にしながら、必要な所に配置していきたい。

**増田** 協力隊は一般臨時職員と違う。地域課題解決のためにグループとして動きやすい体制を作る必要があるのでは。

**町長** 勤務形態や活動拠点等整えながら、より良い協力隊の活動並びに募集ができるよう来年度に向けて取り組んでいきたい。

### ● 教育行政のカギは？

**増田** 九重町の教育行政における今後の具体的なカギは。

**教育長** 小中をつなぐ「このえ学」の取り組み、社会教育も含めて、広く住民との合意形成を続けていくこと。連携と協働が重要なカギではないかと考える。

佐藤 太治



## ふるさと納税について

……… 地域産業振興の面から返礼率を増やして取り組む

### ● ふるさと納税

**佐藤** ふるさと納税は返礼を充実させた自治体に、寄付が集まる傾向にある。取り組みと方向性は。

**町長** 税の各町村間の配分は、制度的にされるべきであらうという思いがある。また町として返礼する以上は信用性の問題があるので、返礼品に販売実績を設定した。今まで販売も何もしてなかったものを返礼品として返すのは、いかななものかという考え方である。

### ● 伍代の跡地利用は

**佐藤** 伍代の取り壊した跡地利用と、今後の取り組みはどうなっているか。

**町長** 前の店頭部分については取り壊した。そこに1階店舗、2階事務所を建設と考えていたが、駐車場として残すべきではないかと意見もあり、再度協議している。

**佐藤** 町有施設の跡地の建物は解体ということになっているが、まず壊すということではなく、利用出来るものは利用方法を考えるべきではないか。

**町長** 町有施設整備計画に基づき、今後説明しコンセンサスを得ながら、協議をしていく形になる。

### ● 温泉館の今後とプール計画は

**佐藤** 中学校の授業と部活動に於けるプールの、あり方はどうなっているか。

**町長** 中学校学習指導要領



解体された伍代の跡地

に、適切な水泳場の確保が困難な場合には、これを扱わないことが出来ると記載がある。

**佐藤** プールの今後の計画としては、つくるのかつからないのか。

**町長** 町民の健康増進に合せたところで、町民プールとしての有効活用を図るということで、計画したけども東日本震災等で建設物価等が高騰し、31年度以降ということ、実際の建築

年次を明確にした計画にはなっていない状況である。

**佐藤** 温泉館を廃館にして、プールをつくる計画があるといわれているが本当なのか。

**町長** 温泉館を壊してプールをつくるわけではなく、温泉館の廃止は最近の話であり、温泉館を壊した話に、プールをつくるという話は全くの間違いである。



温泉館

# あたしのひとこと

もの作りに  
挑戦しています

丸塚  
寺元 新八さん



45年ぶりに帰郷し、親父の残した田を眺めながら、定年後はペンをクワに持ち替える決意を固めました。

何もわからない中、土づくり  
に苦勞し、講習会にも参加し、  
毎日の畑仕事に汗する中で、九  
重ケーブルテレビの年末特別番組  
の出演依頼がありました。その  
時発した言葉が、『ものづくり  
に挑戦』でした。今思えば、よく  
言えたものだと思います（笑）  
このものづくりが、自然を相  
手にこれ程大変で難しいもの  
かと、日々痛感しております。

しかし会社勤めの中で学んだ精  
神、経験、更には持ち前の反骨  
心で取り組み、愛情をかけた分  
だけ応えてくれる、自然の恵み  
に楽しくなりつつあります。

周り一面田んぼの中で県道下  
の私の畑は、道行く人の注目の  
的、おかしな事はできません。

当初に述べたように、地域に  
は長いブランクがあり、人脈づく  
りを考える折に、いろいろ地域活  
動をしている方から誘われるま  
ま積極的に参加するようにして  
います。今では友人も増え有り  
難く思い、感謝しています。今  
後も、ものづくりを生き甲斐と  
し、日々挑戦して参ります。



今日も畑に生きがいを感じて!

子供の未来について

宝泉寺  
松平 努さん



働く場所がない。住むところ  
が無い。そんな声をよく耳にし  
ます。

九重町の人口ビジョンを見ると  
2040年には6、500人を割  
り込み、65歳以上が47%という  
超高齢化になるという統計を見  
ました。

20年先、自分の子供達だけで  
はなく今の町内の子供達が帰って  
来て働く場所があり、安心して  
住めるような地域を作るには、  
個人や個々の事業所の努力だけ  
でどうにか出来る問題ではなく  
なりました。今現在町には65  
5の事業所があり、4、400

人が働いています。同業者同士  
が連携をして雇用をしたり異業  
種と交流をして極力手間や人手  
を省くようにやっていくことの必  
要性を感じています。私自身、  
九重町商工会青年部に加盟して  
20年が過ぎました。4年前より  
始めた婚活事業も一定の成果が  
上がっており少しずつではありますが  
すが明るい話題も増えています。  
これから先、声を掛け合い、み  
んなが笑って過ごせるような九重  
町になってほしいと考えていま  
す。皆様イベントの際はご協力お  
願いたします。



いつまでも守りたい農村風景

# 傍聴へどうぞ 次回は12月です



野上・鉾神社の  
こども囃子



こだわりの  
かけ干し米づくり  
富迫の安達さん



## このえ ふまさと便り 第3便



東飯田小学校  
運動会



第44回  
飯田東部地区体育祭

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

## 編集後記

4年に一度の熱い戦い、ブラジルでのオリンピック、パラリンピック。全世界の人が不安をいだいた大会でしたが見事に成功でした。梅木真美選手、町から2人目のオリンピック選手の誕生。次回の東京大会にも出場してほしいと願っています。

県体の議員ソフトボールも初めての優勝となりました。雨のために初日に準決勝まで勝ち進んだ4チームとも優勝でした（運も実力）。スポーツの世界はいつも結果が目目され、選手の活躍の源である食材にはあまり関心が示されませんが、食材の調達基準があるらしいです。たぶん有機農産物やおいしい食材が基準になると思われます。何かのかたちで東京オリンピック、パラリンピックに参加できたらいいですね。

坂本 憲治

- ・ 広報委員長 大津留敏加
- ・ 副委員長 佐藤 明郎
- ・ 委員 井上 里子
- ・ 委員 坂本 憲治
- ・ 委員 藤原 三治
- ・ 委員 有吉 富生